

加東市地域公共交通網形成計画の推進について

加東市地域公共交通網形成計画では、計画の目標を達成するために 17 の施策を実施します。その中で、平成 29 年度は、次の 6 つの施策について取り組みます。(★印を付している施策は、計画で定める重要施策です。)

1 交流の中核となる新たな交通結節点の整備 p.99～100 ★

平成 34 年度の供用開始を目指し、やしろショッピングパーク Bio の駐車場内にバスターミナルを整備します。平成 29 年度の実施として、市役所内でプロジェクトチームを立ち上げ、バスターミナルの形態・機能・規模について調整します。あわせて、神姫バス株式会社をはじめとした交通事業者との協議を始めます。

2 パーク＆ライド推進のための駐車場等の確保 p.101～102

平成 29 年度の実施として、滝野社インター停留所周辺に駐輪場を整備します。

3 広域交通と連動した地域公共交通ネットワークの形成 p.105～106 ★

広域幹線と市内の移動手段との乗継待ち時間の短縮、運行ダイヤの見直しについては、交通事業者との協議を行います。

路線バスルートの見直しについては、平成 29 年度の実施として、計画で示している社三田線の運行ルート変更について神姫バス株式会社との協議を始めます。あわせて、米田ふれあい線の利用区間拡大について米田地区との協議も始めます。

4 タクシーの有効活用に向けた取組 p.111～112 ★

福祉タクシー事業のあり方については、福祉部局において評価・検証しながら、地域公共交通ネットワーク形成の取組に連動させて、検討を始めます。

乗合タクシーの導入については、公共交通空白地の解消のため、市町村運営有償運送の新たな導入とあわせて取り組みます。

5 地域や学校、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの実施 p.113～114 ★

平成 29 年度の実施として、地域公共交通ガイドマップを作成し、配布します。地域公共交通ガイドマップの作成に当たっては国の補助金を活用します。

6 地域の主体的な取組による移動手段の維持・拡大と新たな確保 p.127～128 ★

市町村運営有償運送の運行環境の改善として、平成 29 年度は、運転手手当の増額、車庫の設置、米田ふれあい線の車両更新を実施します。

市町村運営有償運送の新たな地域での導入については、公共交通空白地の解消のため、乗合タクシーの導入とあわせて取り組みます。